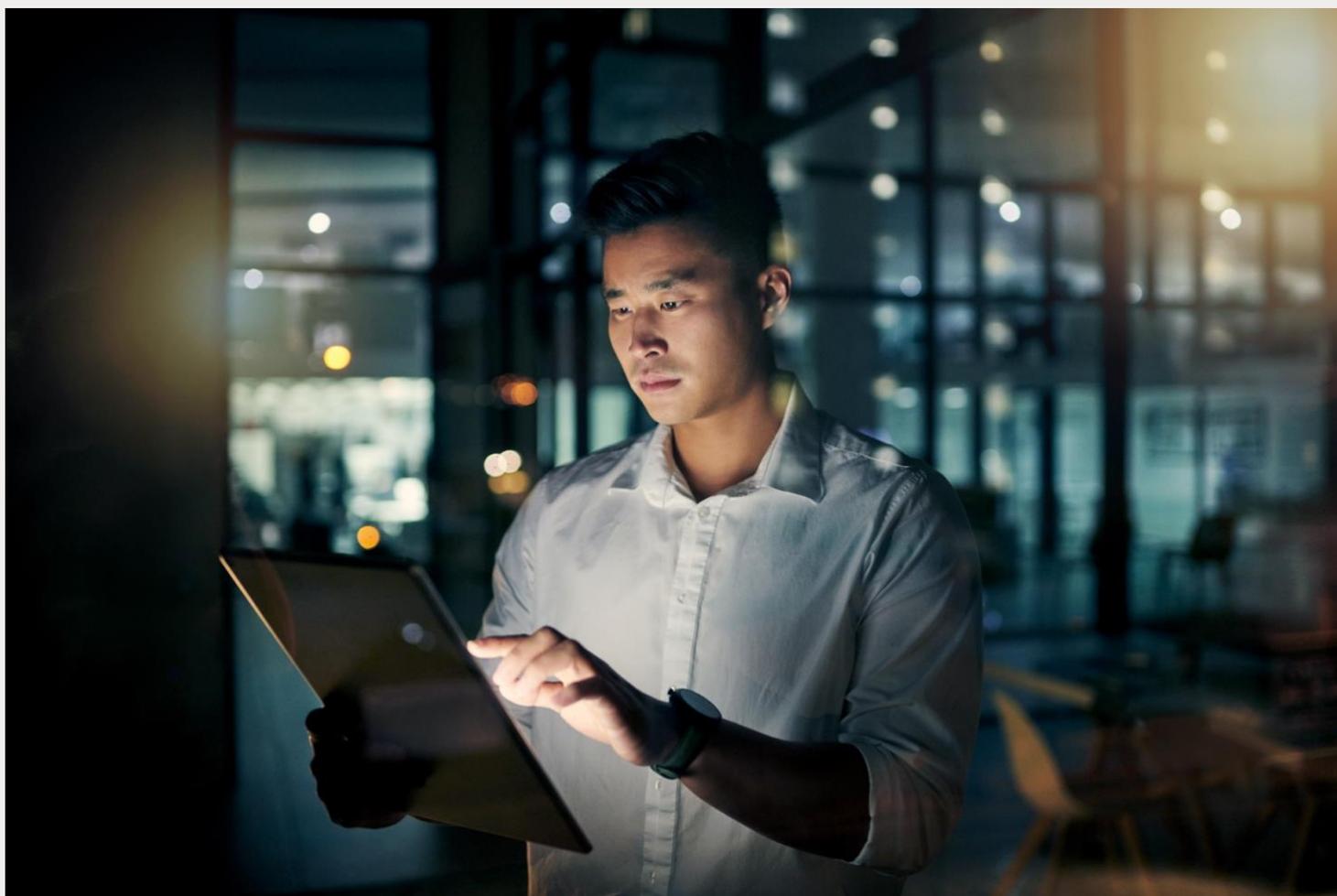


ORACLE

オラクルのAIエージェント

Oracle Cloud ERP



免責事項

本書には、ソフトウェアや印刷物など形態の如何を問わず、オラクルの独占的な所有物である占有情報が含まれます。この機密文書へのアクセスと使用は、お客様が締結し、遵守することに同意したOracle Software License and Service Agreementの諸条件に従うものとします。本書と本書に含まれる情報は、オラクルの事前の書面による同意なしに、公開、複製、再作成、またはオラクルの外部に配布することはできません。本書は、ライセンス契約の一部ではありません。また、オラクル、オラクルの子会社または関連会社との契約に組み込むことはできません。

本書は情報提供のみを目的としており、記載した製品機能の実装およびアップグレードの計画を支援することのみを意図しています。上記の事項は、マテリアルやコード、機能を提供することをコミットメント（確約）するものではないため、購買決定を行う際の判断材料にしないで下さい。本書に記載されている機能の開発、リリース、および時期については、弊社の裁量により決定されます。製品アーキテクチャの性質上、コードが大幅に不安定化するリスクなしに、本書に記載されているすべての機能を安全に含めることができない場合があります。

AIエージェントが革新するエンタープライズ・リソース・ プランニング（ERP）

進化し続けるエンタープライズ・テクノロジーの世界において、AIエージェントは、エンタープライズ・リソース・プランニング（ERP）のための革新的なデジタル・アシスタントとして台頭しつつあります。これらのエージェントは、ERP内のビジネスプロセスに特化したサービスを提供することで、財務とビジネスオペレーションを再定義しています。複雑なタスクやワークフローを合理化し、生産性を向上させ、コストを削減し、財務プロセス、意思決定、サービスを強化・自動化することで、AIドリブンの財務を実現します。

オラクルのAIEージェント

オラクルのAIEージェントは、業務効率、イノベーション、成長の新たな基準を打ち立てます。これらの強力なツールは、特定のビジネス・プロセスやトランザクションにシームレスに組み込まれた生成AIサービスでユーザーを支援します。

Oracle Fusion Cloud Applications、お客様固有のドキュメント、およびさまざまな接続ソースから取得したデータを使用することで、これらのAIEージェントは、最新かつ状況に応じた情報と支援を提供します。Eージェントは、複雑な質問への回答、パーソナライズされた推奨の提示、従業員の代理としてのタスクの完了など、認知的推論を必要とする機能に優れています。オラクルのAIEージェントは、データを動的かつセキュアに利用して、文脈に応じた、正確でタイムリーなサポートを提供します。これにより、組織全体の意思決定を強化し、業務効率を改善します。

各AIEージェントは、ビジネスユーザーに対して非常に関連性の高い、文脈に合わせたサービスを提供するために、環境とのインタラクションにおいて独自の特性を持っています。ただし、すべてのEージェントは、組織全体で一貫したサービスを提供するために共通の基盤上で動作します。

- **自律型の機能:** AIEージェントは、手動または繰り返しのタスクを自動化し、環境の変化に応じて対応する高度なデジタル・アシスタントとして機能します。これにより、チームやマネージャーは、より戦略的な活動にフォーカスできるようになります。
- **動的なインタラクション:** AIEエージェントは人間同士のインタラクションを模倣し、日常業務の一部として親しみやすい存在になります。過去のインタラクションから学習することで、時間の経過とともに大幅に改善されます。また、複数のEエージェントが関与する複雑なワークフローを管理するのにも役立ち、組織の効率性を向上させます。
- **業務を大きく変革:** AIEエージェントは、タスクの自動化により従業員の能力を大幅に向上させ、チームの人員を増やすことなく、より高いレベルのサービスを提供できるようにします。
- **専門的な役割:** AIEエージェントは、財務、人事、調達などの部門内で特定の役割にあわせてカスタマイズでき、各部門の複雑な業務をより効果的に管理できます。

Oracle Cloud Applicationsは、EエージェントなどのAI機能を既存のシステムに直接組み込んでいます。このシームレスな統合により、使い慣れたプラットフォーム全体でAIを迅速に導入でき、大がかりなトレーニングの必要性を減らすことができます。また、広範な評価メカニズムとカスタマイズのオプションを通じて、高品質な成果を実現できます。

AIドリブンの財務

AIドリブンの財務は、オラクルのクラウドERPソリューションの戦略的ビジョンです。AI、生成AI、機械学習などの先進テクノロジーを活用し、財務プロセス、意思決定、サービスを強化、自動化します。その目標は、運用効率、企業の有効性、管理、コスト削減を大幅に改善することです。このアプローチは、「オペレーションの自動化」、「予測的インサイト」、「関連アクションの実行」という3つの主要な要素から成ります。

- オペレーションの自動化では、人手の介入を最小限に抑え、ビジネスプロセスとワークフローの自動化を目指しています。AI、生成AI、機械学習などの高度なテクノロジーを活用して、タスクを自律的に処理します。例えば、勘定科目照合や取引照合を自動化することで、決算を迅速化できます。また、インテリジェント文書認識（IDR）は、請求書の入力作業を自動化します。オペレーションの自動化の目標は、手作業を削減し、効率性を向上させ、ミスを最小限に抑え、リアルタイムでの意思決定を可能にすることです。
- 予測的インサイトとは、過去のデータやリアルタイムのデータに基づいて、データ分析や高度な機械学習を実行し、将来の結果、行動、トレンドを予測することを指します。Oracle Cloud ERPは、社内外のソースから継続的に財務および運用データを収集し、アジャイルな運用に必要な可視性を提供します。これらのデータに対して実行されるAIは、問題点と機会を明らかにし、生成AIが説明付きの詳細な予測を提供することで、最適なビジネス成果のためのプロアクティブな軌道修正を可能にします。この機能により、組織は情報に基づいた意思決定を行い、潜在的な問題を予測し、機会を活用することができます。
- 関連アクションの実行とは、組織内外のさまざまなシステム、チーム、プラットフォーム間でシームレスにリンクされた、一連のアクティビティまたはプロセスを指します。これらのアクションは、高度なAI/生成AI/機械学習テクノロジーと自動化によって促進されます。例えば、Oracle Cloud ERPは、経費削減の可能性があるサプライヤーや請求書を特定し、ダイナミック・ディスカウント、バーチャル・クレジットカード、サプライチェーン・ファイナンスなどの支払いオプションを提示することで、企業が運転資本を最適化する機会を見つけられるよう支援します。このように、さまざまな財務プロセスと外部サービスを統合することで、より効率的で効果的な財務運用が可能になります。

AIドリブンの財務は、オペレーションの自動化、予測的インサイト、関連アクションの実行を統合することで、財務プロセスを強化します。このアプローチにより、業務効率や戦略的意思決定が改善され、データ主導のインサイトが可能になります。その結果、組織は、財務業務をより適切に管理し、成長を推進できるようになります。

財務におけるオラクルのAIエージェント

Oracle Cloud ERPの中核には、AIドリブンの財務のビジョンがあります。これは、シームレスに統合されたAIエージェントによって実現されるものです。これらのインテリジェント・アシスタントは、財務、調達、プロジェクト管理、エンタープライズ・パフォーマンス管理など、スイート全体に組み込まれています。これらのAIエージェントは、オペレーションを自動化し、予測的インサイトを提供し、組織全体で関連アクションの実行を促進します。AIエージェントを活用することで、組織は財務業務、意思決定プロセス、および全体的なビジネス・パフォーマンスを大幅に改善することができます。

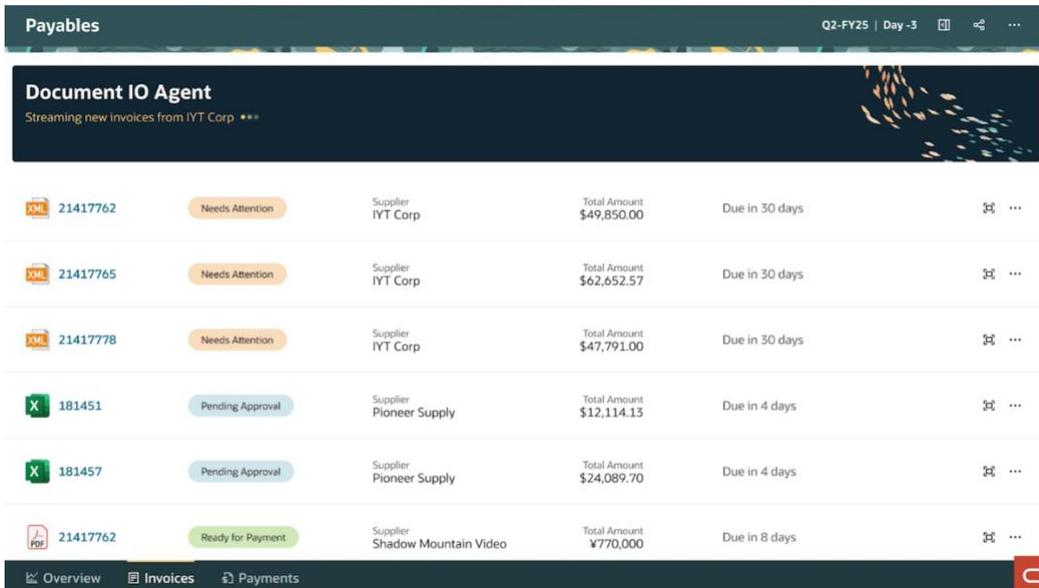
これらの包括的な組み込み機能により、ERPのワークフローにおいてAIのパワーが最も必要とされる場面で、いつでも利用できるようになります。Oracle Cloud Applicationsスイートでは、50を超える役割ベースのAIエージェントが発表されており、四半期毎のリリースで新機能が追加される予定です。このドキュメントでは、Oracle Cloud ERPの3つの主要なAIエージェントであるドキュメントIOエージェント、元帳エージェント、高度な予測エージェントについて詳しく説明します。

ドキュメントIOエージェント

ドキュメントIOエージェントは、サプライヤー、顧客、銀行、政府機関、物流業社などのサードパーティとの複雑な統合やオンボーディングを自動化し、簡素化することで、すべてのトランザクション、電子チャネル、文書規格、形式、言語にわたるドキュメントの取得や生成を効率化し、改善します。

例えば、エージェントは画像、PDFなどのフォーマット済みドキュメント、さまざまな言語の電子ドキュメントを処理することができます。また、すべての属性を標準化、マッピングし、人間によるレビューや承認のために、これらのドキュメントを購買依頼書、請求書、支払指示書に変換することも可能です。

ドキュメントIOエージェントは、調達から支払いまでのエンドツーエンドの財務プロセス全体にわたってドキュメント処理を自動化することで、財務業務をスピードアップします。サプライヤー請求書の処理や支払い、購買依頼書の作成、銀行取引明細書の取り込み、顧客への請求書の発行、経費の領収書の処理など、ドキュメント、トランザクション、ワークフローの管理方法を刷新します。

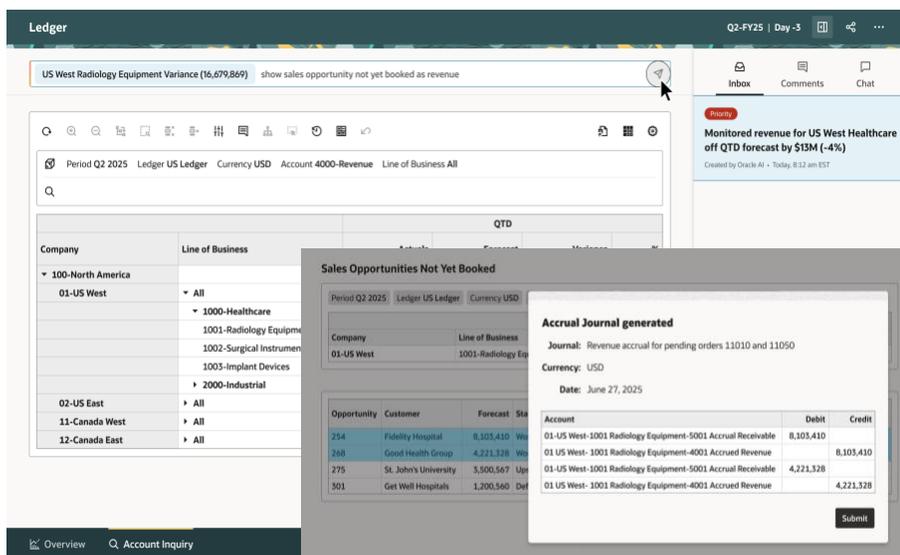


ドキュメントIOエージェントは、さまざまなファイルや文書形式の請求書を自動的に処理します。

元帳エージェント

元帳エージェントは、トランザクション・データ内の例外や異常を特定することで、人的負担を軽減します。このAIアシスタントは、口座残高、例外、異常を効率的に監視および分析するほか、プロンプトベースの自然言語による勘定分析を通じて補完情報を補助元帳から抽出し、ユーザーに提供します。

例えば、エージェントは、四半期末前に特定の事業部門の収益が予測から外れているかどうかを監視し、検知できます。また、注文の遅延など収益に影響を与える要因について、プロンプトを用いて自然言語でクエリできるようにしたり、その後、調整用の繰延仕訳を自動化することができます。

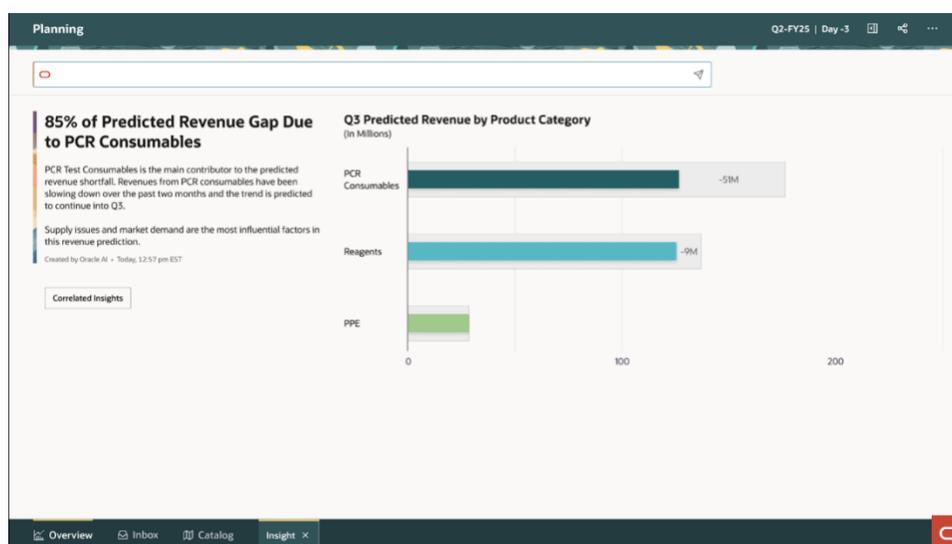


元帳エージェントは、自然言語検索を使用して収益予測の差異の要因を特定し、予測を微調整するための修正仕訳を自動的に生成します。

高度な予測エージェント

高度な予測エージェントは、AIを活用して、より正確で包括的な予測と分析を提供します。財務、業務、および外部データを予測フォーキャストに活用し、組織が多変量AI予測モデルをサポートできるよう支援します。

例えば、エージェントは、内部データやマクロ経済データを活用して、隠れたパターンやトレンドを明らかにし、データ・ドリブンの収益予測を作成することができます。これにより、よりタイムリーで正確なキャッシュフロー予測が可能になります。



高度な予測エージェントは、PCR消耗品の収益不足を予測し、その要因を特定します。

まとめ

AIエージェントは、財務および経営管理のあらゆる側面にデジタル・インテリジェンスを組み込むことで、エンタープライズ・リソース・プランニングを再定義しています。企業が、効率性、拡張性、一貫性を大幅に向上させ、より効果的で合理化されたERP機能を実現できるよう支援します。AIエージェントを活用することで、組織は財務業務を変革し、進化するビジネス課題に効果的に対応できるようになります。

[デモのリクエスト](#)

[ERP向けオラクルのAIの
詳細](#)

[Oracle Cloud ERPの
詳細](#)

オラクルへのお問い合わせ

+050-3615-0035にお電話いただくか、[oracle.com/jp/corporate/contact](https://www.oracle.com/jp/corporate/contact) にアクセスしてください。最寄りのオフィスを <https://www.oracle.com/jp/corporate/contact/field-offices.html> でお探してください。

blogs.oracle.com

facebook.com/oracle

twitter.com/oracle

Copyright © 2024, Oracle and/or its affiliates.このドキュメントは情報提供のみを目的としており、記載内容は予告なしに変更される場合があります。このドキュメントは、誤りがないことを保証するものではなく、口頭または法律で明示されているかどうかにかかわらず、商品性または特定の目的への適合性の黙示の保証および条件を含む、その他の保証または条件の対象ではありません。オラクルは、このドキュメントに関連するいかなる責任も明確に否認します。また、このドキュメントによって直接的、間接的に関わらず契約上の義務が生じることは一切ありません。このドキュメントは、オラクルによる事前の書面による承諾を得ることなく、目的の如何を問わず、電子的手段または印刷によるものも含めていかなる形式や手段によっても複製または送信することが禁じられています。

Oracle, Java, MySQLおよびNetSuiteはオラクルおよびその関連会社の登録商標です。その他の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。